

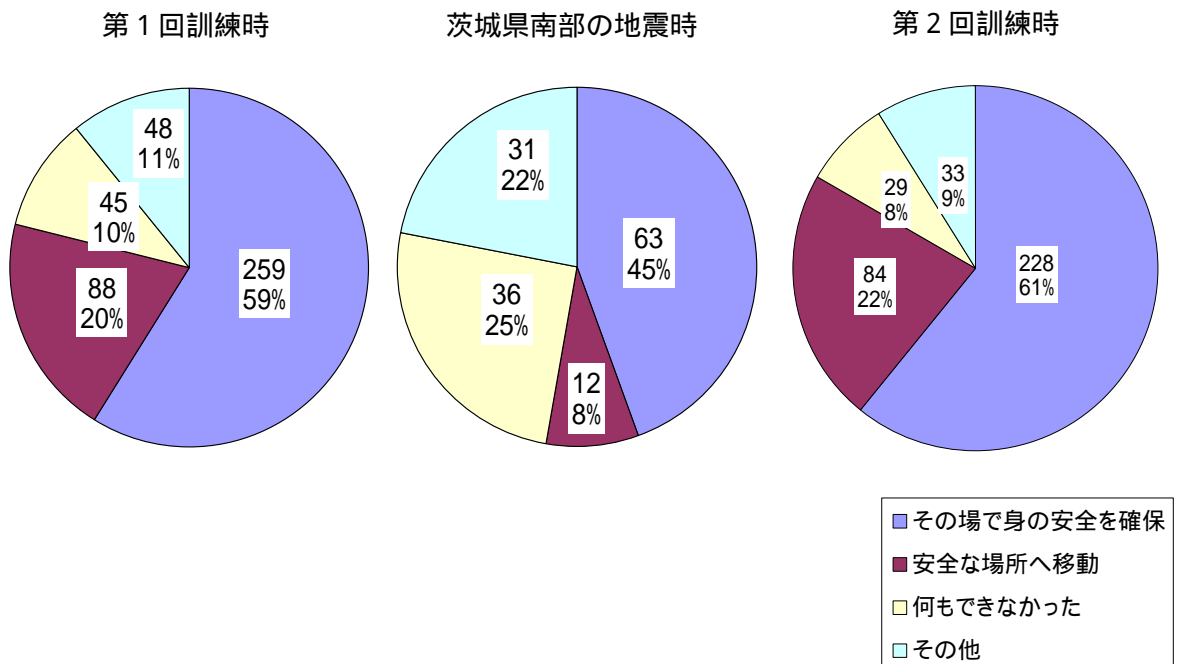
気象庁本庁庁舎におけるモデル実験のアンケート結果について

1. 実施状況

対象イベント	実施日時	回答期間	回答者数
第 1 回訓練	4 月 23 日 (月) 10 時 15 分	訓練終了後 ～ 約 1 日間	外来者 32 名 気象庁職員 440 名 厚生施設関係者等 27 名
茨城県南部の地震 マグニチュード 4.5 深さ 46km 最大震度 3 (大手町震度 2)	5 月 8 日 (火) 21 時 01 分	地震発生後 ～ 翌日 17 時	気象庁職員 142 名 厚生施設関係者等 11 名
第 2 回訓練	5 月 15 日 (火) 11 時 00 分	訓練終了後 ～ 約 1 日間	外来者 31 名 気象庁職員 376 名 厚生施設関係者等 61 名

2. アンケート結果 (抜粋)

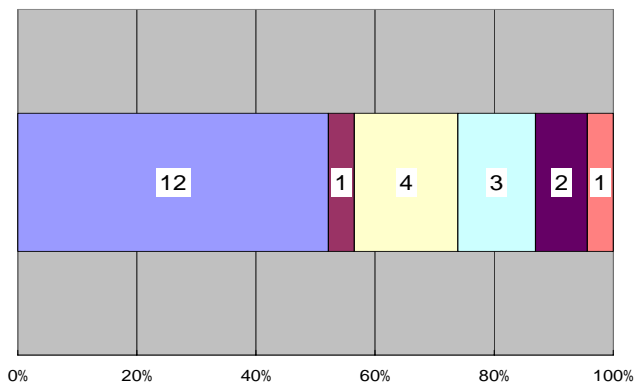
(1) 気象庁職員がとった行動について



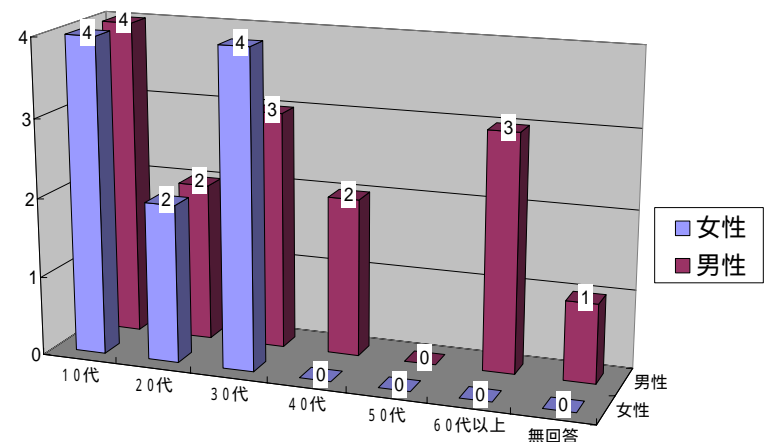
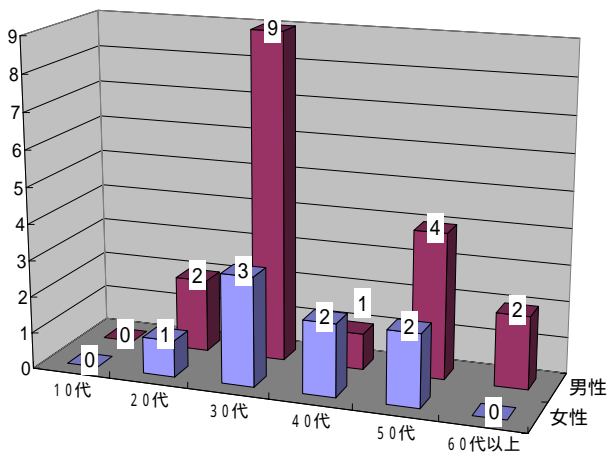
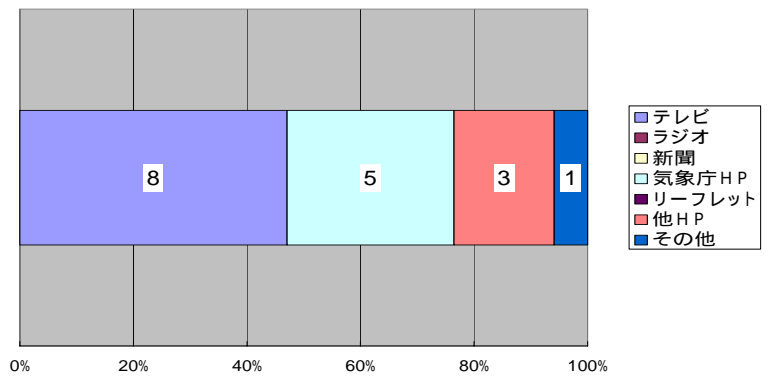
- ・ 事前に放送が予告される訓練においては4分の3以上で適切な行動がとれていた。
- ・ 5月8日の茨城県南部の地震においても半数以上が適切な行動をとっていた。

(2) 外来者が「緊急地震速報」をどのようなものから知っていたかについて

第1回訓練時



第2回訓練時



- ・ 第1回訓練、第2回訓練ともに、テレビから知った方が約半数であった。
- ・ 第2回訓練では、気象庁HPまたは他のHPから知った方の割合が増えた。これは、アンケート回答者に気象科学館で見学中の中学生10名が含まれており、事前に勉強していた可能性があること、また、アンケート回答者に占める若年層の割合が多いこと、が原因として考えられる。